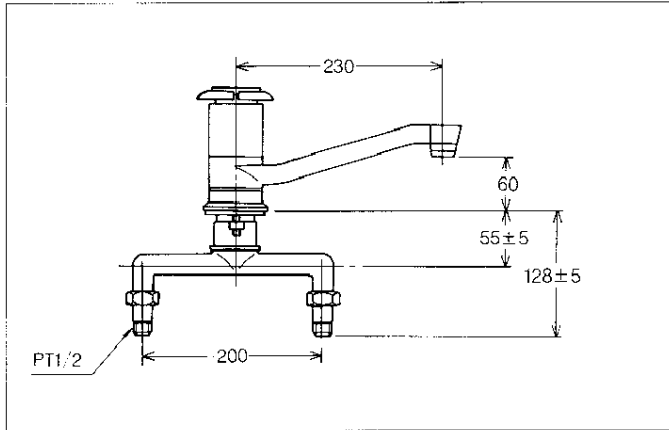


製品の機能が十分発揮されるように、この取付説明書の内容にそって正しく取付けてください。

## 寸法図

TB661



## 使用条件

### 1. 使用水圧

- (1)給水・給湯圧力 { 最低必要水圧………0.5kgf/cm<sup>2</sup>  
最高水圧………7.5kgf/cm<sup>2</sup>

(2)給水・給湯圧力はできるだけ同圧になるようにしてください。

### 2. 給湯に蒸気を使用しないでください。

### 3. 湯・水を逆配管しないでください。

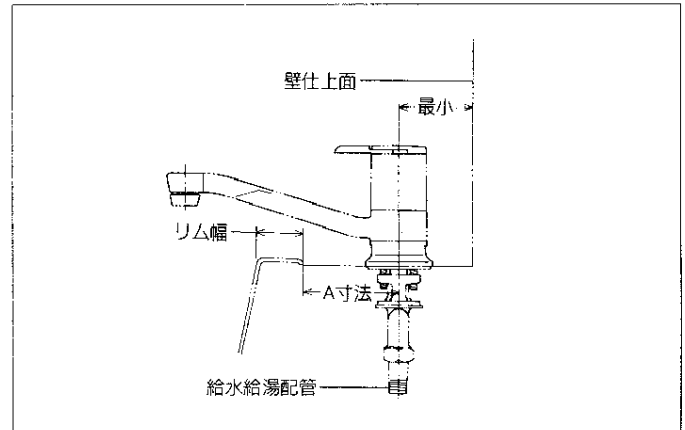
なお給湯機からの給湯管は抵抗を少なくするため最短距離で配管してください。配管後は必ず保温材を巻いてください。

## 器具の取付け

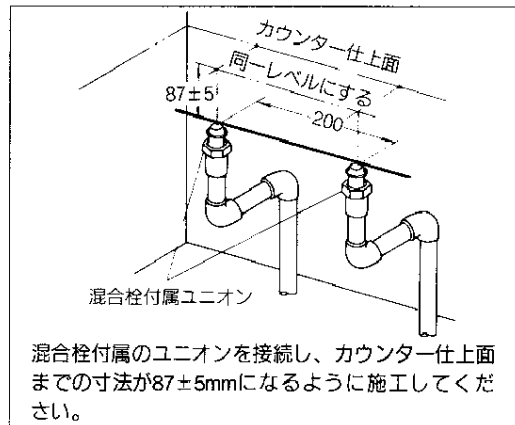
水道工事と浴槽取付工事は十分に工程を打合わせのうえ行ってください。

### (1)給水・給湯配管の心出し

心出しが不十分ですと器具の取付けや浴槽内への吐水ができなくなりますので、次図の寸法を厳守して施工してください。

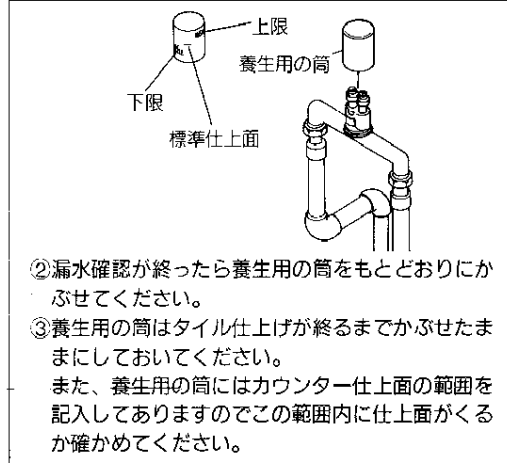
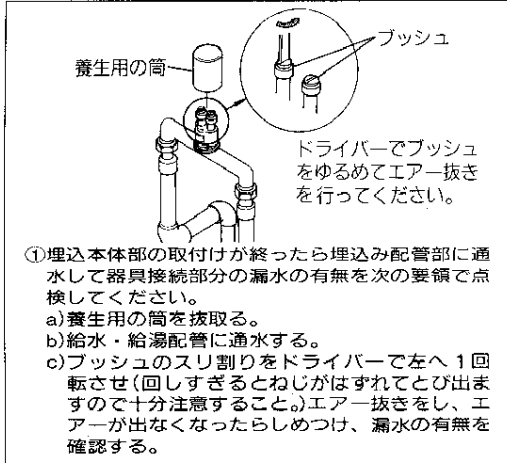


浴槽種類	浴槽リム幅	A 寸法
FBS1200 FBS1300他	70	50~130
P660 P661R/L他	90	50~110
P670 P671R/L他	100	50~100
P680 P681R/L他	110	50~90

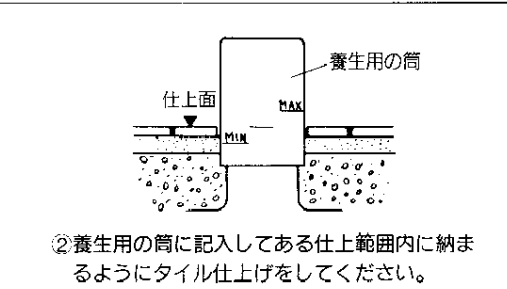
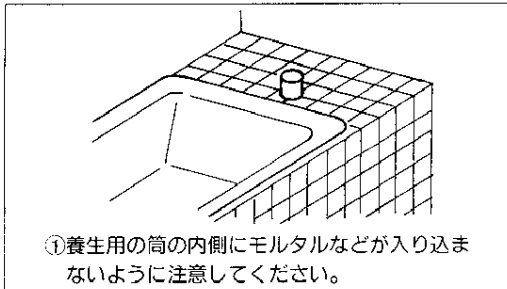


混合栓付属のユニオンを接続し、カウンター仕上面までの寸法が87±5mmになるように施工してください。

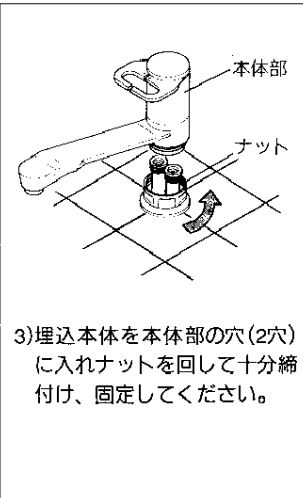
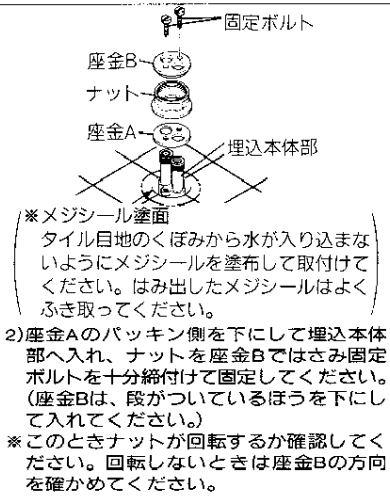
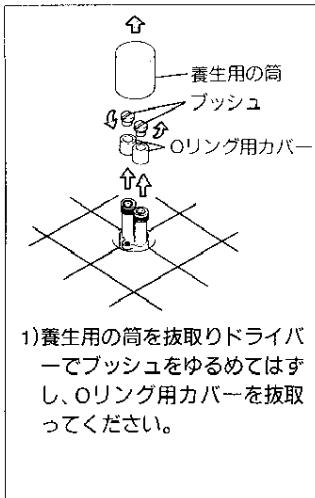
## (2)埋込本体部の取付け



## (3)タイル仕上面



## (4)本体部の取付け



# 分解と点検

取付後万一故障などで分解するときは、次の要領で行ってください。

## ご注意

バルブ部カートリッジ内部は精密加工された特殊セラミックバルブを組立調整しておりますので、絶対に分解しないでください。

現象	点検箇所
吐水量が少ない	1
水が止まらない ハンドル部から水が漏れる	2・3
吐水温度不良	1
ハンドルがガタつく	4

30分締付けてあるか  
カートリッジ押え

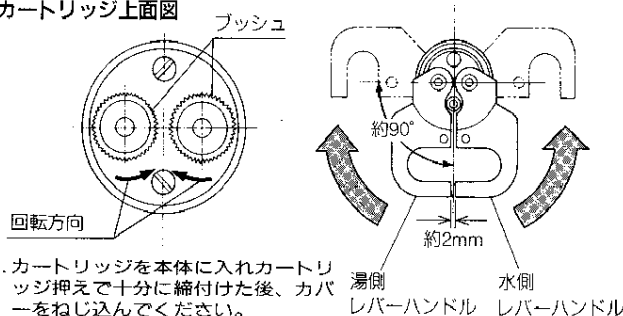
2傷・ごみかみはないか  
バルブ部カートリッジ  
パッキン  
スバウト  
吐水口キャップ  
1ごみづまりはないか

プッシュ  
ハンドル止めねじ  
歯付座金  
湯側レバー  
ハンドル  
40分締付けてあるか  
ハンドルカバー  
ハンドルカバー取付小ねじ  
歯付座金  
水側レバー  
ハンドル  
カバー

## ハンドル部の取付要領

レバーハンドルをとりはずした場合は次の要領でお取付ください。

### カートリッジ上面図



1. カートリッジを本体に入れカートリッジ押えで十分に締付けた後、カバーをねじ込んでください。
2. スピンドルにプッシュを入れ図のように止まるまでまわしてください。

3. 湯水のレバーハンドルを中央ですきまが約2mmになるように入れてください。
- 注) すきまが約2mmにならない場合はプッシュ・レバーハンドルを差し替えて調節してください。
4. 矢印のように左右に開いたときに約90°回転するか確かめてください。
5. 歯付座金と小ねじでレバーハンドルを固定しハンドルカバーを取付けてください。

# お手入れ

器具がいつまでも美しさを保つように、お客様にお手入れ方法をご指導ください。

1. ふだんは柔らかな布でふき、ときどきマシン油やカーワックスなどをしみこませた布でふくこと。ただし、樹脂部に付着すると光沢を失うので付着しないよう十分注意すること。

2. クレンザーやみがき粉など粗い粒子を含んだ洗剤やナイロンたわしなどは使用しないこと。
3. 酸性洗剤はめっきを侵しますので、使用しないこと。もし、タイルを酸性洗剤で洗った場合は、すぐにタイル及び器具を十分に水洗いすること。